

## 【新製品】分級機内蔵型微粉砕機

### ホソカワ/マイクロ ACM パルベライザ E-ACM

分級機内蔵型微粉砕機 ACM パルベライザに改良を加え、自動車産業において不可欠な原料であるタイヤ用カーボンブラックの性能向上処理に特化した微粉砕機として開発された「ACM パルベライザ E-ACM」の販売を開始しました。

当装置は、汎用性が非常に高く、さまざまな産業分野で数多くの導入実績を有する微粉砕機 ACM パルベライザの特長を活かしつつ、カーボンブラックを用いた製品の品質を左右する原料中のグリット量（粗粒、カーボン焼成炉の壁材などの不純物）を減らす処理に特化することで、カーボンブラックにおける最新の品質要求を満たすことを目的に米国子会社（ホソカワミクロンインターナショナル）で開発されました。

日米欧のみならず中国や東南アジア諸国をはじめとする新興国におけるカーボンブラックメーカーへの拡販に地理的メリットを有する日本からの直接販売機種に加えることで、成長市場への展開強化を図ります。

#### <E-ACMの概要>

##### <型式・価格>

型式：E-ACM 10～300（6型式）、価格：本体1,150万円～8,500万円（税別）

##### <販売目標>

10台/年以上

##### <製品の概要>

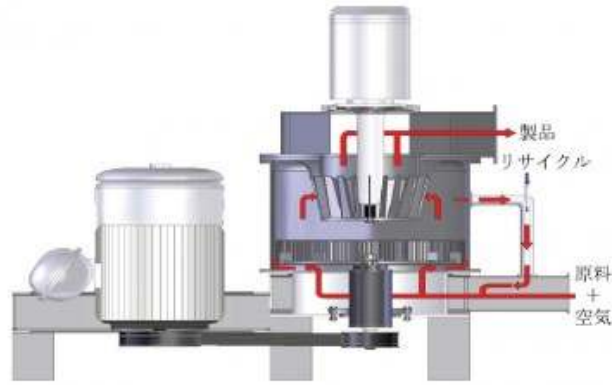
#### 1. 製品名称

ホソカワ/マイクロ ACM パルベライザ E-ACM（分級機内蔵型微粉砕機）

#### 2. 原理・構造

グリット粒子（粗粉）を効果的に粉砕するには、原料を十分に分散した状態で処理することが必要のため、原料を空気輸送することで分散しながら粉砕室へ送り込む仕組みとなっている。カーボンのように軽い原料を処理する際には、全ての原料がショートパスすることなく、必ず粉砕室を通過することが特に重要である。当装置では、粉砕ロータの下部から原料を供給する構造を採ることで、全ての原料が衝撃式粉砕機構を通過するよう設計されている。

また、分級ロータ域のケーシングにゲートバルブの付いた開口部を設けることで、そこから分級粗粒子を排出し、エジェクタによって粗粒子を粉砕部の原料供給口へ戻して再粉砕する構造となっている。エジェクタの圧力を変更することでリサイクル率を調整し、製品品質と処理能力のバランスを考慮することで生産条件を最適化することができる。



### 3. 特長

- ・低投資コスト  
一台の装置でグリッド除去が可能
- ・低運転コスト  
メンテナンスによる運転停止の必要がなく、連続運転が可能

### 4. 用途

カーボンブラック、トナー、粉体塗料、小麦粉、大豆 など

#### 【100 E-ACM 外観】



以上、お知らせいたします。